

- 問1 奈良時代、人口の増加にともない、農民に分け与える土地である口分田が不足しました。この状況を改善するため、743年に出された、新しく開墾した土地を永遠に自分のものにすることを認めた法律を何といいますか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
1. 太閤検地                      2. 三世一身の法                      3. 班田収授法                      4. 墾田永年私財法
- 問2 8世紀の聖武天皇の時代、全国に国分寺・国分尼寺を建立して仏教による国家鎮護を図った時期の地方統治の様子を説明した文として、適切なものはどれか。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)
1. 地元の有力な豪族が国司に任命され、代々にわたってその土地の支配権を世襲した                      2. 地方の農民の中から選挙で選ばれた代表者が、都へ送られて地方行政の指針を決定した                      3. 中央の都から派遣された国司が、地方の行政・司法の責任者として諸国を治めた                      4. 天皇から直接任命された武士が各地に赴き、年貢の徴収や土地の管理のみを専門に行った
- 問3 8世紀の日本が唐の長安を模して平城京を造営した歴史的な背景や目的として、最もふさわしい説明はどれか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 海外からの軍事的な侵攻に備えるため、山岳地帯に防御力の高い城郭都市を築く必要があったため。                      2. 鎌倉を拠点とする武士の勢力に対抗し、貴族による伝統的な政治を取り戻す象徴とするため。                      3. 土地の私有を認める墾田永年私財法を全国に広め、農民の開墾意欲を向上させるための拠点とするため。                      4. 律令国家としての威信を内外に示し、天皇を中心とする中央集権的な統治体制を確立するため。
- 問4 律令国家の税制において、戸籍に登録された人々に対する土地の配布と税の負担に関する説明として、当時の制度の仕組みを正しく述べているものはどれですか。 (2023年 長野県公立入試 類似)
1. 土地の不足を防ぐため、口分田は成人した男性のみに与えられ、その代表として戸主が税を負担した                      2. 戸籍に登録された者のうち、6歳以上の男女であれば身分に応じた広さの土地が与えられ、収穫に応じた税を納めた                      3. 戸籍に記載された家族のうち、労働力となる男性のみに土地が与えられ、布や特産物を納める義務が生じた                      4. 6歳以上の男女に土地が与えられたが、実際に税として稲を納める義務があったのは戸主のみであった
- 問5 歴史上の出来事を時系列で整理したとき、7世紀初めの「遣隋使の派遣」から、11世紀末の「院政の開始」までの間に起こった出来事として正しいものはどれですか。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)
1. 墾田永年私財法が出され、新しく開墾した土地の永代私有が認められた。                      2. 参勤交代が制度化され、諸大名が一年交代で江戸と領地を往復するようになった。                      3. 承久の乱が起こり、後鳥羽上皇が幕府軍に敗れて隠岐に流された。                      4. 地租改正が行われ、土地の所有者に地券が発行され、地価の3%を現金で納めることになった。
- 問6 東大寺の正倉院に納められた宝物が、当時の西アジアやペルシアといった遠方の地域の特徴を持っている理由として、最も適切な説明はどれか。 (2016年 東京都公立入試 類似)
1. 当時の唐は広大な帝国であり、シルクロードを通じて世界中の文化が集まっており、日本は遣唐使を通じてそれらを吸収したため。                      2. モンゴル帝国がユーラシア大陸を支配したことで、東の果てにある日本とも陸路での安全な交易が可能になったため。                      3. 聖武天皇が仏教を広めるためにシルクロードを自ら横断し、各地で収集した仏具や美術品を持ち帰ったため。                      4. 日本がペルシアやインドと直接の通商条約を結び、定期的に商船が難波津や平城京へ来航していたため。
- 問7 奈良時代に編纂された歴史書である『日本書紀』に、飛鳥時代の重要な政治的動向として記録されている事柄はどれか。 (2017年 山形県公立入試 類似)
1. 一遍が各地を巡り歩いた踊り念仏の様子                      2. 桓武天皇による平安京への遷都                      3. 中大兄皇子らによる大化の改新の進展                      4. 平将門が関東で朝廷に対し起こした反乱
- 問8 奈良時代に唐から日本へ渡り、唐招提寺を建立した僧である鑑真が、5回もの渡航失敗や失明という困難を乗り越えて来日した主な目的として、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 新潟県公立入試 類似)
1. 日本に正しい仏教の戒律を伝え、僧侶に資格を授ける授戒の制度を整えるため。                      2. 聖武天皇の命令を受け、平城京の都市計画や大極殿の設計を指導するため。                      3. 遣唐使の廃止を日本政府に進言し、日本独自の文化である国風文化を確立するため。                      4. 比叡山に延暦寺を建立し、最澄とともに天台宗を日本に広めるため。
- 問9 律令国家において、成人男子の大きな負担となった税制のうち、各地の絹や布、あるいは魚や塩といった特産物を都まで運び、中央政府に納めるものを何といいますか。 (2025年 福岡県公立入試 類似)
1. 調                      2. 雑徭                      3. 租                      4. 庸
- 問10 794年、桓武天皇は都を山背国（現在の京都府）に移し、平安京と名付けました。この遷都が行われた主な目的として、当時の政治状況を踏まえた説明として正しいものはどれですか。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
1. 墾田永年私財法によって広まった私有地（荘園）をすべて没収し、再び奈良の地で公地公民制を復活させるため。                      2. 大宝律令を廃止して、中国の唐の制度に頼らない日本独自の新しい法典を平城京以外で作成するため。                      3. 東北地方での蝦夷（えみし）との戦いに専念するため、政治の中心地を一時的に東北地方に近い場所へ移した。                      4. 平城京で強大になっていた仏教勢力の影響を断ち切り、天皇中心の律令政治を立て直そうとした。
- 問11 奈良時代に編纂された書物のうち、中央政府の正史としてまとめられた『日本書紀』や『古事記』と比較した際の、『風土記』の特徴として適切な説明はどれですか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)
1. 地方の国ごとに、土地の産物や地名の由来、古くから伝わる伝承などが記録された。                      2. 律令制度に基づく税の徴収を目的として、各地の戸籍や土地の面積を詳細に記した。                      3. 天皇の系譜や国家の成り立ちを、神話や伝説を交えて年代順に体系化した。                      4. 万葉仮名を用いて、天皇から防人、農民まで幅広い階層の人々が詠んだ歌をまとめた。
- 問12 7世紀後半、日本（倭）が唐・新羅の連合軍に白村江の戦いで敗れたことをきっかけに、大陸の制度を参考にしながら天皇を中心とする中央集権国家の仕組みが整えられました。この流れの中で、8世紀初頭に制定された法体系を何と呼びますか。 (2025年 京都府公立入試 類似)
1. 墾田永年私財法                      2. 十七条の憲法                      3. 班田収授法                      4. 大宝律令
- 問13 律令時代の法令の解説書である「令義解」には、戸籍を6年ごとに作成することや、6歳以上の男女に土地を与える際、男性には二段、女性にはその3分の2を割り当てることが記されています。この制度において与えられた「口分田」の扱いについて、正しい説明はどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
1. 生活が苦しくなった場合には、口分田を貴族や寺社に売却することが認められていた。                      2. 新しく開墾した土地であれば、口分田として永久に私有することが認められた。                      3. 土地を与えられた者が死亡した場合には、その土地を国に返却しなければならなかった。                      4. 口分田は家族の財産として、親から子へ代々引き継ぐことが義務付けられていた。